

会 議 録

作成日 令和 7 年 11 月 14 日(金)

日	令和 7 年 11 月 11 日(火)	時間	14 : 00 ～15 : 45	場所	市役所 2 階 201・202 会議室
件 名	(議題) 第 3 次糸魚川市生涯学習推進計画の令和 7 年度実施計画の中間報告について				
出 席 者	【出席委員】 11 人（敬称略） 井崎由紀子、清水博、高野秀樹、古市正信、田邊和子、藤田衛 西典子、松本香織、川合喜久雄、矢島好美、清水友樹 【事務局（生涯学習課）】 9 人 川合課長、本間課長補佐、須澤係長、山岸係長、伊藤主査、 作本主査、小田嶋主査、大西主査、関澤主事				
	傍聴者定員	5 人		傍聴者数	0 人

会議要旨

全体進行：事務局と委員長

1 開 会（14:00）

2 協 議

（1）役員の選出

前市社会教育委員会議委員長および前市生涯学習推進委員長がご逝去されたため、再度選出を行った。

- ・市社会教育委員会議委員長、市生涯学習推進委員会委員長 松本委員
- ・市生涯学習推進委員会副委員長 田邊委員
- ・上越地区社会委員連絡協議会

副 会 長 松本委員

理 事 清水友樹委員 川合委員

監 事 清水博委員

編集委員 松本委員

3 報告事項

（1）第 3 次生涯学習推進計画 令和 7 年度実施計画の中間報告について

事務局から委員へ事業を説明し質疑応答

① 家庭教育事業

○ブックスタートについて

【委 員】2 歳の歯科健診までブックスタートの参加人数を取っているが、その後小学生以降の

図書館利用などの人数を数えているか。

【事務局】小学生の人数は特に取っていない。ただし利用者のデータはとれる。小学生、中学生になると利用が減ってくるため、図書館員を経験するイベントやボードゲームで楽しんでもらい、図書館利用に繋げようとしている。

○「おとうさんといっしょ」について

【委員】お父さんと子どもで朝食を一緒につくるのは大変よい。その時作った朝食のレシピは参加者へ渡しているのか。

【事務局】いつも作った食事のレシピは渡している。

【委員】今回作った食事以外のレシピも考えて参加者へ渡すとよいと思う。

【委員】朝食づくり、工作、学習など親子が集中して向き合える環境で進められ、スタッフも親子へよく声掛けしていてよかった。また屋上から海や山の景色をみるのもよかった。あとは参加した家族間で交流ができるような工夫があればよい。

【事務局】近年では朝食づくりと学習のみで事業を実施していたが、今回は工作を入れてみた。あと参加者同士の交流は見られなかったなので、今後は交流できる内容で実施するよう考えたい。

【委員】糸魚川地区公民館でなく他の地区でもこの事業を行ってほしい。またアンケートをとってよい意見があれば、取り入れて事業を改善してほしい。

【事務局】昨年度については、夏は能生地域、冬は青海地域で実施したが、参加者が少なかった。日にちや時間など検討して糸魚川以外の地域でも実施したいと考えている。アンケートについては事業ごとにとっている。アンケートの意見を次回実施の検討材料としている。

○命の安全教室について

【委員】対象年齢は決まっているか

【事務局】就学前児童や小学生とその保護者を対象としているが、誰でも参加できる事業としている。今年は12月6日に開催する図書館の「おしゃべりな図書館」というイベントの中で「命の安全教室」も行う。

② 青少年活動事業

○青春（アオハル）サポーターについて

【委員】アンケートの回収率が低いということだが、現在どのように回収しているのか。

【事務局】ボランティア証明書を学校へもっていくときに、学校の先生にこのQRコードを読み取ってアンケートを回答するようお願いしている。

【委員】事業が終わったその場でアンケートをもらうほうが回答率は高いと思う。

【委員】中学生ボランティアについて取扱いをどのように考えているか。

【事務局】ボランティア証明書は出しているが、公には募集は行っておらず、中学校や公民館

から中学生のボランティアの話があったときに対応している状況である。

【委員】中学生に出すボランティア証明は高校受験に活かされるのか。一部の中学生にしか情報が行かないのであれば平等ではない。

【委員】高校受験には基本的にはボランティア証明書は関係ない。

【委員】地区行事に参加する中学生は積極的に小学生へ指導して頑張っている。部活や勉強し、それから一生懸命ボランティアに参加する中学生は自分の立場を考えて参加している。高校生と分け隔てなく中学生にもボランティア証明書を出すのがよい。中学生は地区公民館活動にとらわれることなく、町の行事もボランティアで参加すればよい。

【委員】市が後援や共催に入っているしっかりとしたイベントに中学生ボランティア参加の方向性を向かせるところが事業としては大事だと思う。

【事務局】ボランティアの意欲がある中学生に対して、前向きに参加できる環境整備が必要であると考えている。

【委員】ボランティア証明書は高校生が大学受験する時に、自分がどんなボランティアをしたかを受験書類に書くことができるため重要である。

市からいろいろな団体へこのようなボランティア証明書を発行していることを情報提供し、ボランティア参加者へ各団体または市からボランティア証明書を発行することにより、子どもたちがもっと活動すると思う。

【事務局】アオハルサポーターを募集する事業については、毎月各高校へ情報提供している。事業の目的をよく考え、中学生の取扱いについて検討していきたい。委員の活動を通してお気づきの点があったらお知らせいただきたい。

【委員】どういった事業がアオハルサポーター該当する事業かわからない。一覧表や年間計画があるようなら令和8年度計画から示してほしい。今後の課題として検討してほしい。

【委員】郵便や二次元コードでアオハルサポーター事業を知らせてほしい。

○ 野外体験活動プランを活用した事業（ジオキッズ探検隊）

【委員】地元の生涯学習推進の経験のある経験豊富な人材が起用されていてよい。しかし、市と公民館側との情報共有が細かいところでなされておらず公民館職員が迷っている場面も見受けられた。

子どもだけが参加する事業は、子どもの保護者が一体その事業に何を求めて子どもを送り込んでいるのかわかると、また次の授業に繋がると思う。アンケートの結果を庁内で共有すると、地域の子供のいる家族が何を求めているかわかりやすくなる。

【事務局】子どもへのアンケートはとったが、保護者の考えを知るために保護者からもアンケートなど意見をとるよう検討したい。

③ 成人教育事業について

○ 新成人お祝い事業について

事務局からお祝いメッセージと、新成人に関係する行政制度が開催されているHPへ案内する二次元コード付きの郵便を送ることを説明

【委員】実施予定の1月15日は大学共通テストの直前くらいの時期だが実施予定か。

【事務局】1月15に日くらいに郵便が届くよう予定している。

【委員】海洋高校の寮には住民票を移さずに来た学生もいるので、公平に取り扱ってほしい。

④ スポーツ、健康について

○総合型地域スポーツクラブ事業

質疑なし

(2) 新潟県社会教育研究大会新発田大会について（新発田市・10月8日）

松本委員長が県から功労者表彰

令和8年度の本研究大会は上越市で開催予定

(3) 上越地区社会教育委員連絡協議会現地学習会について（妙高市・10月24日）

妙高市の上江用水と図書館を中心とした複合施設「まちなか+（プラス）」を視察

(4) 今後の生涯学習事業について

事務局から令和8年2月21日根知地区で開催予定の第3回ジオキッズ探検隊（野外体験活動プラン事業）について説明

4 その他

特になし

5 閉 会 （15：45）